

早池峰山・焼石岳

山行日：6/22（土）～6/23（日）

コース：(1日目)松戸 5:24=上野 5:43/

はやぶさ 45号上野 6:06=盛岡 8:13/8:25=岳駐車場 9:45/10:00=小田越 10:36
小田越 10:44-早池峰山 13:21/13:49-小田越 15:59/小田越 16:12=岳駐車場 16:35=
大迫農業体験実習館 16:50

(2日目)大迫農業体験実習館 5:20-中沼登山口 7:30/7:47

中沼登山口 8:05-焼石岳 12:26/12:49-中沼登山口 17:24

中沼登山口 17:40=焼石クワパーク 18:00/18:50=水沢江刺 19:27

やまびこ 58号水沢江刺 20:11=上野 22:50/23:06=松戸 23:26

費用：交通費 JR15,000円(大人の休日倶楽部パス)+宿泊費 2,000円+他(レジャー代、食費)

22日 早池峰山 曇りときどき少雨

かなり昔の話。翌日が休日であつた夜更かしを。深夜に BGM と映像を流している番組をボーっと…ではなく、その日は思い切り釘付けに。荒々しい岩の山。そこに霧を含んで強風にゆれる高山植物。厳しい環境、そして短い夏に精一杯咲いて、何て健気な。花の百名山、早池峰山だった。是非いつかは登りたい。その思いが積もり積もっていたので、リーダーから計画書を頂いた時は本当にうれしかった。

当日は盛岡でレンタカーを借り岳駐車場へ。そこからシャトルバスで小田越(登山口)へ行くはずが、バスは小田越の停留所に停まらず通過。リーダーが「小田越だいぶ通過したよ！」と声をかけなければ乗客は皆、終点まで連れていかれてしまう所でした。危ない危ない。

登山開始時間は過ぎましたが、小田越より気を取り直してスタート。樹林帯を抜け大きな岩、岩、岩。見晴らしは曇りのため今一つ。でも視線を下に向けるとミヤマオダマキ、ホソバイワベンケイ、ミヤマシオガマ、ミヤマアズマギク、ハクサンチドリ、そしてハヤチネウスユキソウ。まだまだ他にも。ガスの中、岩の間から滴をまとった花達。あ～これを見たかった。この幻想的な中に自分の身を置いていると思うと感動！！山頂までお花を楽しみ、雪渓、鉄梯子もクリア。山頂避難小屋で休憩を取り下山。雨に濡れた蛇紋岩はきれいに青光り。「きれいだなー」と呟くが、そこにワナが。滑りやすく緊張し肩に力が。すっかりへとへとになり宿泊先へ到着。食坦の K さんの手際の良く食事を準備していただき、美味しいご飯をおなか一杯頂き明日の焼石岳もお花を期待し、9:00に就寝。



リーダー、サブリーダー参加の皆様、思いが叶いました。ありがとうございました。



23日 焼石岳 晴れのち曇り、そして小雨、山頂は土砂降り、からの曇り

早朝宿を出発し、時折変なナビの案内を受け流しつつ軽快に胆沢ダムまで。中沼登山道入口から登山口までの未道の悪路っぷり、レンタカーで良かったです。蝸に好かれちゃって困ってる美女お二人のお支度通りに全員、深窓のご令嬢状態で頭からネットを被り出発。びしょびしょじゃぶじゃぶの水浸しの道が延々と延々と延々と続きます。YさんとAの靴は中まで浸水、雪解けの水って冷たいですね。途中休憩で止まるとわけのわからない虫がタイツの上からも次々と刺してきます。ここまでは焼石岳って石が焼けてるわけでもない大水と虫だらけの山じゃあない、とっていました。

ところが中沼を過ぎた辺りから、山頂までずっと花、花、花、何て素晴らしい山なのでしょう！ミズバショウ、リュウキンカ、シヨウジョウバカマ、シラネアオイ、カラマツソウ、ハクサンチドリ、ハクサンイチゲ、等々、高山植物の宝庫でした。また残雪も豊富で、数回雪渓のトラバースでは下が切れて見えないのがゾクゾクでした。

結果、焼石岳は、花も水も雪も虫も全てが豊富な再び足を運びたくなる山でした。

二日間、頼もしいリーダー、美味しいお食事のサブリーダー、皆様には、お世話になり、ご一緒させて頂いて大変楽しかったです。ありがとうございました。



(両日写真撮影(提供): Yさん)